離任する先生からのメッセージ

氏名	メッセージ
千葉　忠幸	2 年前，着任日当日に校舎の廊下ですれ違う当時の 3 年生が，「おはようございます！」と，とても気持ちのいい挨拶をしてくれました。そして，新任式の日には体育館で我々新転任者を凛とした姿で迎えてくれた2・3年生をみて，なんて素晴らしい学校なんだろうと思いました。その印象は，今でも変わりません。今の在校生の皆さんにもきちんと受け継がれているのだと思います。この校風をこれからも大事に後輩へ繋いでください。そして皆さんには大いなる可能性があります。皆さんが，修業式で校長先生が話された「未見の我」を発見すべく，気高生として誇りを持って進んで行くこと期待しています。あっという間の 2 年間でした。楽しい 2 年間をありがとうございました。
内海　好晴	気仙沼高校は私の夢を叶えてくれた学校です。自分が生徒の時にフェンシングという素晴らしいスポーツに出会ったのも教師になって 12 年間も生徒とともに学ばせてもらったのも、「三陸の王者」気仙沼高校でした。夢はいくつ持っていてもいいですが、夢を描いているだけではなく目標にして、限られた時間の中で実現させることが私は大事だと常に思っています。転がってくるチャンスもありますが自分で切り開いていかなければ多くの幸せは掴むことができません。限界は自分で決めることではありません。もっともっと進路実現のために勉強できます。もっともっと部活動に必死になれます。気高生はもっともっとできます。「限界に挑戦！」残りの高校生活を自分の夢の実現のために必死に努力してください。
我妻　拓弥	哲学者のスピノザは自由について、自分を自分たらしめている本性に従っていることこそが自由だと考えました。自分の中に備わっている能力や気質に沿って生きていられることこそが自由だというのです。自由の反対は「強制」と呼ばれ、自分の能力にそぐわないことを無理矢理やらされることを意味します。たとえば魚は水の中を生きるようにつくられています。水棲生物であることが魚の本性の一つです。そんな魚が自分の本性に従って水の中を自在に生きるのは自由ですが、何らかの強制力を受けて、陸上で生きるよう強いられたら、それは不自由だということです。ところで人間は、自分の本性が自分にもわからない場合があるので、どんなことが自由か、何をされたら不自由か、自分でもわからないことがあります。ですから、自分の中にどんな本性が秘められているのか、あれこれやってみて、あるいは色んな勉強をして、見つけ出していかなければなりません。その営みが、現代社会では学校生活に求められるのです。もちろん、学校以外でもですが。いずれにしても私たちは、自分をよりよく知り、本当に自由を実感するために、多くに挑戦し、学び続けなければなりません。どうか気仙沼高校の在校生のみなさん、またはかつての卒業生諸君、自分らしく生きるために、あらゆる場面で学び続けてください。あなたの学びは、あなたの自由につながり、自由を生きる人は幸せな人生を歩み、幸せな人生を歩むひとは、真に誰かの力になれる人に育っていくと思います。気仙沼という土地に生まれつき、育ったという共通項以外は、人それぞれ違っていいはずです。みなさんが、本当の自分に出会えることを、いつまでも願っています。いままでありがとう。さようなら。

菅原　幸太	♪こっころの琴の絃も張る～♪これは私の母校の校歌です。私は今年40になりましたが，未だに誇りをもって歌えます。校歌を大事にしてください。3年間の中で校歌を歌う機会は限られています。愛校心，所属感をもって思いっきり歌ってもらえたらと思います。気高の校歌はイントロから最高ですので。一人一人がレペゼン気高なのです。卒業生のみなさんこんにちは。ぜひ皆の激変した姿を見て話したかったのですがこういったご時世ですので仕方がありません。世の中何が起きるか分かりません。一日一日を大事に過ごしてくださいネ。何かあれば築高駅で待ってるゼ。それではまた会う日まで。サヨナラ，サヨナラ,サヨナラ。
鈴木　純平	在校生の皆さん、学び続ける人になってください。学ぶということは、机の上で単純作業することではありません。自分の頭で考え抜くことです。スマホが勉強の妨げになるのなら、どうすれば解決できるかは考えれば分かることです。私も学び続けて、さらに進歩していきたいと思います。3年間ありがとうございました。
二階堂　　慧	4 年間気仙沼高等学校にお世話になり、春からは名取高校に赴任します。名取高校でも皆さんのような素直な生徒に出会えたらいいなぁと思っています。2 年生のときの学習合宿では、「受験は山登りだ」という話をした気がしますが、人生も山登りです。焦らずこつこつ、お互いに歩いていきましょう。人生は長いです。軟式野球部の皆さん、東北大会出場というプレゼントをありがとう。OBの皆さん、あと一歩で上位大会に進めなかった悔しい思い出もたくさんありましたが、一緒に秋田や弘前まで練習試合に行ったりと、長く時間を共にするなかで楽しい時間を過ごせました。皆さんまたどこかでお会いしましょう。感謝の気持ちとともに 4 年間ありがとうございました。
石山　奈津子	2年間という短い間でしたが、ありがとうございました。人生の中で気仙沼に来る予定はありませんでしたが、来てみると風景も人も食べ物もとても素敵な街でした。人生には予定外のことがつきものです。それを楽しめると人生は面白いものになると思います。ここに来て、君たちに出会えて、私の人生の面白みが増えました。ありがとうございました。
笹氣　真孝	2年間という短い間でしたが、ありがとうございました。これからもイイ感じで頑張ってください。 あばよ♪
織田　智加來	社会人になってからの4年間，この気仙沼で過ごせたこと，皆さんと出会えたことは本当に幸せでした。今の私があるのは間違いなく皆さんのおかげです。さて，高校生は自分の力でより深く考えられるようになり，また努力によって大きく成長できる時期だと私は思います。「今楽しい」ことも良いことですが，未来の自分のためにしっかり自分と向き合ってよく努力してください。 最後に，卒業生を含め，気仙沼でお世話になったすべての皆様に深く感謝申し上げます。私を気仙沼に迎えてくださり本当にありがとうございました。

西城　恵子	気仙沼高校では人懐こく話しかけてくれるみなさんにいつも癒やされました。私自身もまだまだ未熟なので色々と言えることはないのですが、何か伝えたいことがあるとすれば色々な価値観を知る大切さです。世界には自分の当たり前が当たり前でない場所がたくさんあります。みなさんは一生懸命頑張ればきっといいことがある、幸せになれると思って色々な経験をしますね。でも、世界には「頑張っている人が幸せとは限らないし、幸せな人が頑張っているとは限らない」という考えを持っている人もいます。その人たちには日本人にとっては当たり前の一生懸命働くという概念があまりありません。私たちからしたら彼らは怠け者に見えるかもしれません。でも、彼らは必死で働いたり自分の多くを犠牲にしたりして結果的に過労死や自殺を選んでしまう日本人が理解できません。どちらが幸せなのかはわからないですね。 でも、幸せになりたい気持ちは誰でももっているはずです。だから様々な価値観を知って自分が自分らしくいられる場所を探していくことが大切なのだと思います。その場所は気仙沼にあるかもしれないし、東京かもしれないし、ラオスかもしれません。もし今自分の居場所がないと思っても、あきらめないで探してみてください。自分と違う価値観を無視しないことがこれからますます大切になってくると思います。こんなことを言っている私も、他人の価値観を受け入れられるほど器が大きくはありません。だから今、自戒の念も込めてこう書いています。みなさんから教えてもらった一生懸命さを忘れずに頑張っていきたいと思っています。本当にありがとうございました。
三浦　芽依	気仙沼高校生徒の皆さん、1年間ありがとうございました。皆さんと過ごした日々は私にとって、かけがえなく忘れられないものになりました。春からは新しく、唐桑小学校の養護教諭として働くことになります。皆さんが成長していく姿を、ここ気仙沼で見守っています。 せっかくなので、今話題の感染予防に関わることを。健康のために大切なことのひとつとして、免疫力を高めることがあります。免疫力を高めるためには、”十分な睡眠” ”適度な運動” ”バランスの取れた食事”が重要です。また、“笑い”もストレスを和らげ、免疫力を高めてくれます。色々と落ち着かない日々ですが、こんなときこそ生活習慣の見直しと、自分が笑顔になれること探しをおすすめしたいと思います。 それではまた元気で笑顔の皆さんに会える日を楽しみにしています！